

「ボクらの時代」番組の感想

「興味深く戸田恵梨香さんの番組を拝聴しました。有難うございます。

戸田さんの語り口、いいですね。死に対する恐怖を赤裸々に語っていますね。

生徒にも、死について考えるか聞くと、毎晩寝る前に天井を見て、死んだらどうなるんだろ、と考えちゃうと言っていた生徒がいます。

そんな生徒がいるよと、ほかのクラスで話すと、「やば、そのひと病んでるじゃん」とか言って、高畑さんのごとく、笑いになってしまいました。

小さいころから考えて怖かったという生徒もいます。

一方、死について考えたことがない、という人もいて、わりと二極化？するような感触があります。

この違いは何か、単に経験の多少ではなく、感性、輪廻の経験としかいいようがない気がします。

たしかにこの問題で苦しんでいる人がいることは一定数いますね。そういうひとには、宗教が絶対必要ですね。

しかし、本当に一部の人か・・・死ぬのは全員なので、全員向き合っていないといけない根源的苦悩ですね。一法庵には答えがあります」

☆☆☆

ボクらの時代の記事

「ネガティブな感情について、高畑は「寝る前に押し寄せてくれることはある。(解消する)方法はないし、考えるし、さいなまれる」と明かすと、戸田も「ずっと考えちゃうタイプです。特

にベッドに入って“よし寝るぞ！”って時に一番回転しちゃうんです。あれは苦しい」ともらした。

「夜になって、ベッドに入るといろいろなことを考えちゃうところから、恐怖心が芽生えたりする。あと、死について考えちゃう。子どもの頃から、いつか死ぬんだ！ってことを考えると、シクシク泣いてたんです。いまだにギューって、“泣きそうになる！”ってぐらい、恐怖にさいなまれる瞬間があるんです」と吐露。「だけど、この人がいるっていう安心感が芽生えて、ようやく“あ、一人で死なずに済む”っていう、少し楽になった部分がありました」と結婚して、心境に変化があったことを明かした。